

能楽鑑賞炯の会 京都公演 葵上  
11月24日(金)午後4時開演

ご挨拶

五感で感じる能の世界  
能楽鑑賞道しるべ「二曲三体から紐解く能楽の世界」

能楽案内

能楽囃子の世界

大江信行

大倉源次郎

葵上

シテ 六条御息所の霊

ツレ 巫女

ワキ 横川小聖

ワキツレ 橘道成

間狂言

笛

小鼓

大鼓

太鼓

後見

”

地頭

地謡

”

”

味方 玄

深野貴彦

有松遼一

岡 充

茂山千三郎

森田保美

大倉源次郎

河村 大

前川光範

片山伸吾

味方 團

大江信行

宮本茂樹

大江泰正

大江広祐

他

午後5時30分終了予定

ご挨拶

秋に衣更をした京都は魅力的です。古都で楽しむ源氏物語を題材にした能楽「葵上」。

開演時間は夕食前のひと時(90分)をご用意させて頂きました。

会場は京都の能舞台でも百年以上の歴史を持つ趣の深い能楽堂です。

初めての方にも、見巧者の方にも楽しんで頂ける様に番組を組ませて頂きました。

能楽鑑賞炯の会 京都公演に向けて  
能楽小鼓方大倉流十六世宗家 大倉源次郎

能楽とは

700年近い伝統を持つユネスコ世界無形文化遺産に登録された日本の誇る舞台芸術です。

観阿弥、世阿弥が当時の様々な芸能文化を集約して天下泰平、国土安穩、五穀豊穡を祈る『翁』から神、男、女、狂(雑)鬼という様相を神 仏の世界観から俯瞰したある時は当事者として演じる演目が240曲が現行曲として伝わり普遍的な人の世界が網羅されています。

今回の1部の解説では能楽の魅力演技と音楽面から解説、2部では名作の葵上を鑑賞。室町時代に京都で花開いた日本文化の清華『能楽』と、この京都の地で出会ってください。



能「葵上」シテ・味方玄 撮影・尾辺真也

「葵上」解説

原典は紫式部作の源氏物語、舞台は平安京華やかなりし頃。光源氏の寵愛を受けた題名に挙げられている女性の葵上。彼女自身は身籠り病床に伏していることが舞台正面に広げられた唐織(出し絹)として表されます。

前場では病に苦しむ葵上の病気平癒を祈る巫女の呪文に引き寄せられるように六条御息所の生霊が現れます。捨てられた身の上を嘆き葵上に対して後妻打ちを見せ姿を消します。

後半では横川の行者(小聖)が比叡山より呼び出され更に強力な祈りを上げると鬼の姿になった御息所が姿を現しますが終に祈り伏せられます。

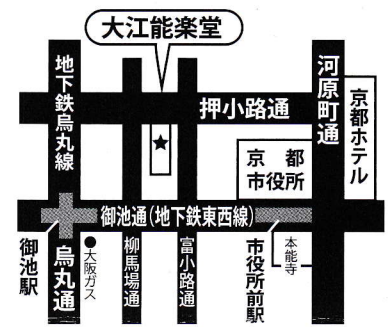
前場は霊力の強い巫女とそれに引き寄せられた生き霊の御息所。後半は比叡山の横川の行者と鬼と化した御息所の対比。見事な舞台転換と演出に世界中の演劇ファンは魅了され今でも海外での上演記録の上位を占めています。

大江能楽堂

会場の大江能楽堂は能楽観世流大江家5世又三郎(後に竹雪)が1908年(明治41年)に創建し、大正8年に現在の規模に改築、戦禍を免れ更に2001年(平成13年)明治の面影をそのまま残す形で基礎部分の大改修をされ椅子席を大幅に取り入れました。

1・2階席数席(1部椅子席)の、自然光の入る貴重な能楽堂です。

HP: <http://www.asahi-net.or.jp/~tn4m-ooe/>



- 地下鉄東西線「市役所駅前」下車、西へ徒歩4分
- 地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」下車、東へ徒歩5分
- 京阪電車「三条駅」下車、徒歩15分

<座席>

- SS (椅子席) 10,000円
- A席 (座布団席) 7,000円
- A席 (腰掛け椅子席) 7,000円
- A席 (椅子席) 7,000円
- B席 (座布団席) 5,000円

<お申込み>

- チケット発売日 2023年9月20日(水) 10:00~
- セクターエイティエイト 06-6353-8988 (平日10:30~17:00)
- イープラス <https://eplus.jp/>
- KENSYOチケットサービス <https://p-ticket.jp/nohkyogen>

